

予算 審査特別 委員会

委員会審査：3月12、15、17、18日（4日間）

委員長：中田豪之助議員、副委員長：我孫子洋昌議員

ふるさと交流館、礼天山
収蔵館管理運営事業

ふるさと交流館、礼天山
収蔵館は予約制となる

（問）予約制でも利用者が
増えない場合の対策は。
（答）そのような事態を回
避するべく努力する。

（意見）地域の郷土資料館
としての転換も視野に入
れて検討すべきである。

病院

看護師は外来、入院とも
に概ね充足している。課題
は外来患者の減少

（意見）41ある病床は過大で
はないか。人口減少のな
か、地域医療に対する展
望をもつて規模、体制を
検討していくべきである。

理事者総括質疑

所管課への質疑に引き続
き、次の項目について理事
者への総括質疑を行った。

下川町のコロナ対策への決
意

疲弊した町内産業に対し
て、令和2年度の確定申告
をよく分析した後、国の第
3次補正予算を用いて、対
策を講じていく。ワクチン
接種は1日当たり50人を目
途として町立病院の医師、
看護師と連携して速やかに
実行する。医療福祉関係者
には労わっていききたい。

健康寿命を延ばす施策

健康寿命とは心身ともに
自立できる期間と、とらえ
ている。自分らしい暮らし
を最後まで続けられるよう
に医療・福祉・住居など地
域連携包括ケアシステムを
構築したい。

生活習慣病を予防するた
め改善の努力をし、特定検
診受診率の向上に努める。

小中一貫教育に関連して、
空き校舎に消防庁舎と役場
庁舎を移動させる考えはあ
るか

小中一貫教育は教育委員

会と協議中。今後も研究を
深める。複数の類型があり
各々長所短所がある。一貫
となった場合、普通教室は
純増、特別教室は調整によ
り現状で運用可能と考える。

地域の重要課題を一体的
に考えなくてはならない
（例、公区制度、移住者の
フォロー、住宅確保、仕事
のサポート等）

地域課題は行政、政治、
医療福祉、教育文化、産業、
コミュニケーションに及ぶ。総合
計画を対策の一つとしてビ
ジョンを明確にして取り組
む。人口減少が進んでおり、
公区制度の検討とともに一
つずつ解決したい。

最後に当委員会として、
産業クラスターは19年の歴
史があり、その功績は大き
い。総括するべきである。

また、林業総合センター、
農産物加工研究所、ふるさ
と交流館など技術、ニーズ、
時代の変化とともに姿を消
す、機能が極端に削減され
る事業があり、次のステッ
プへつなげるためにもこれ



4日間にわたり所管課から予算案の説明と審議を行い、理事者へ総括質疑を行う

らの経緯、業績、予算、人
員等々の総括をするべき、
との意見を付すものである。